

2023年度実績評価

(2022-2024年度中期経営計画 単年度評価)

株式会社日本貿易保険
2024年6月



1. 評価方法及び留意点

(1) 評価方法

- 2022年6月の第16回評価委員会で決定した評価基準に従い、2022-2024年度中期経営計画（以下、中計）の単年度評価を実施する。
- 2023年度（単年度）の業績評価は5段階評価（S,A,B,C,D）とする。
- 単年度評価の最小単位は＜基本方針＞（全15方針）とする。
- 各柱の評価は、柱内の＜基本方針＞の評価平均点に相当する評価とする。
（柱Ⅰ及び柱Ⅳは、定量目標の結果によりノッチ調整あり）
- 総合評価は、4つの柱の評価（ノッチ調整後）に対して下記ウェイトを付し、それに相当する評価を総合評価とする。

柱	計画	ウェイト
柱Ⅰ	我が国企業のグローバルな事業活動を幅広く支援する	30%
柱Ⅱ	社会課題の解決に貢献する	25%
柱Ⅲ	業務品質を高めるとともに、業務の効率化を図る	30%
柱Ⅳ	会社と職員一人ひとりが変革・成長を続ける	15%

1. 評価方法及び留意点

(1) 評価方法

- 5段階評価の区分及び評価基準は以下のとおり。

評価	定量目標達成率	定性目標達成率
S	120%以上	特に優れている
A	105%以上～120%未満	優れている
B	90%以上～105%未満	標準(目標どおり実施)
C	75%以上～90%未満	標準を下回る
D	75%未満	標準をかなり下回る

評価	評価点	評価点の範囲
S	5	4.5以上
A	4	3.5以上～4.5未満
B	3	2.5以上～3.5未満
C	2	1.5以上～2.5未満
D	1	1.5未満

- 柱 I 及び柱IVについては、定量目標の結果に応じて評価のノッチ調整を行う。

柱	定量目標	備考
柱 I	引受金額:2022年度実績比+1%増加	柱 I の定量目標2つとも達成した場合に1ノッチアップの調整実施
柱 I	利用者数:2022年度実績比+1%増加	
柱IV	職員アンケート:NEXIで働くことへの満足度80%以上	

1. 評価方法及び留意点

(2) 評価にあたっての留意点

- 評価対象の事業年度に業務遂行に重大な支障をきたし、当社の信頼を著しく棄損させるような事案が発生した場合(例:2020年度の法令違反)、総合評価の下方修正を検討する。
- 評価にあたっては、当年度の事業環境等を加味する。

2. 中計の各柱と基本方針

柱	大項目	中項目(≒基本方針)
柱Ⅰ. 我が国企業のグローバルな事業活動を幅広く支援する	1.より多くの貿易保険引受でより多くの企業活動を支援	(1)貿易保険引受を増やす
		(2)より多くの企業活動を貿易保険で支える
	2.顧客ニーズに応える貿易保険商品やサービスの提供	(3)より多くの多様なリスクを引き受ける
		(1)貿易保険商品をよりわかりやすく、より使いやすいものに改善する
柱Ⅱ. 社会課題の解決に貢献する	1.社会課題の解決に貢献する取り組み	(2)貿易保険による損失てん補以外の付加価値も提供する
		(1)国の政策と連携し、貿易保険引受を通じて課題解決に貢献する
		(2)保険引受以外の方法でも社会的課題の解決に貢献する
柱Ⅲ. 業務品質を高めるとともに、業務の効率化を図る	1.ガバナンス強化・リスク管理態勢の拡充の取り組み	(3)社会的課題の解決に向けたルール・枠組み作りとその普及に貢献する
		同左
	2.業務の適性化・効率化の取り組み	(1)業務プロセスの最適化・効率化を図る
		(2)組織としての「知の共有」を図る
3.組織・人財両面での専門性を高める取り組み	同左	
柱Ⅳ. 会社と職員一人ひとりが変革・成長を続ける	—	(1)人財へ投資する
		(2)システムへ投資する
		(3)将来ビジネスへ種を蒔く

3. 2023年度評価

(1) 総合評価



表. 総合評価の内訳

柱	計画	評価(評価点)	ウェイト
柱Ⅰ	我が国企業のグローバルな事業活動を幅広く支援する	A(4)	30%
柱Ⅱ	社会課題の解決に貢献する	A(4)	25%
柱Ⅲ	業務品質を高めるとともに、業務の効率化を図る	A(4)	30%
柱Ⅳ	会社と職員一人ひとりが変革・成長を続ける	A(4)	15%
各柱の評価にウェイトをかけた評価値		A(4.00)	—

3. 2023年度評価

(1) 総合評価

【計算根拠】

柱	中項目 (≡基本方針)数	平均値	ノッチ アップ	⇒	5段階 評価	ウェイト	ウェイト 調整後
柱Ⅰ. 我が国企業のグローバルな 事業活動を幅広く支援する	5	4.00	なし	⇒	A (4)	30%	1.20
柱Ⅱ. 社会課題の解決に貢献する	3	4.00	—	⇒	A (4)	25%	1.00
柱Ⅲ. 業務品質を高めるとともに、 業務の効率化を図る	4	3.75	—	⇒	A (4)	30%	1.20
柱Ⅳ. 会社と職員一人ひとりが変 革・成長を続ける	3	3.67	なし	⇒	A (4)	15%	0.60

評価	評価点	評価点の範囲
S	5	4.5以上
A	4	3.5以上～4.5未満
B	3	2.5以上～3.5未満
C	2	1.5以上～2.5未満
D	1	1.5未満



評価点合計	総合評価
4.00	A

3. 2023年度評価

(1) 総合評価

【評価の概要】

- 総合評価は、4つの柱の評価にウェイトを反映して合算し、A評価(評価点4.00)となる。

【柱Ⅰ. 我が国企業のグローバルな事業活動を幅広く支援する】

- 引受実績が7兆9,665億円(目標達成率103%)、利用者数は1,121社(目標達成率98%)となった。保険種別では融資保険の引受件数が大幅に増加(21件の引受。前年度比+110%)。

【柱Ⅱ. 社会課題の解決に貢献する】

- LEADイニシアティブを活用した案件を積極的に引受(5件の引受(前年度比+67%))。
- グリーンボンド等の購入(61億円)、ペーパーレス化の促進(印刷枚数約10万枚/月削減)、女性職員の管理職への登用(女性管理職率27.1%、えるぼし基準では28.9%)等、日常業務における取組みを推進。

【柱Ⅲ. 業務品質を高めるとともに、業務の効率化を図る】

- 再査チームを設置。保険証券発行等の最終承認前の再査を実施し、着実な保険契約締結業務に貢献。
- RPAやVBAツールの積極的な開発により全社で約2,000時間の業務改善効果。
- 延べ56名の若手職員が国際会議へ出席。

【柱Ⅳ. 会社と職員一人ひとりが変革・成長を続ける】

- 2025年卒向けエントリーシート提出人数 514名(過去最多)、新規出向先 2社。
- 2026年リリースに向けた基幹システムの開発プロジェクトを開始。
- 新商品を3件同時リリース。加えて新基軸商品を創設し、年度内に引受を達成。

3. 2023年度評価

(2)柱 I . 我が国企業のグローバルな事業活動を幅広く支援する

評価
A

表. 評価の内訳

大項目	中項目(≒基本方針)	ノッチ調整	評価(評価点)
—	引受金額 毎年1%増【ノッチ調整】	なし	—
	貿易保険「利用者」数 毎年1%増【ノッチ調整】		—
1.より多くの貿易保険引受でより多くの企業活動を支援	(1)貿易保険引受を増やす	—	S(5)
	(2)より多くの企業活動を貿易保険で支える	—	A(4)
	(3)より多くの多様なリスクを引き受ける	—	B(3)
2.顧客ニーズに応える貿易保険商品やサービスの提供	(1)貿易保険商品をよりわかりやすく、より使いやすいものに改善する	—	A(4)
	(2)貿易保険による損失てん補以外の付加価値も提供する	—	A(4)
平均点			A(4.00)

3. 2023年度評価

(3) 柱Ⅱ. 社会課題の解決に貢献する

評価
A

表. 評価の内訳

大項目	中項目(≒基本方針)	ノッチ調整	評価(評価点)
1.社会課題の解決に貢献する取組み	(1)国の政策と連携し、貿易保険引受を通じて課題解決に貢献する	-	S(5)
	(2)保険引受以外の方法でも社会的課題の解決に貢献する	-	A(4)
	(3)社会的課題の解決に向けたルール・枠組み作りとその普及に貢献する	-	B(3)
平均点			A(4.00)

3. 2023年度評価

(4) 柱Ⅲ. 業務品質を高めるとともに、業務の効率化を図る

評価
A

表. 評価の内訳

大項目	中項目(≒基本方針)	ノッチ調整	評価(評価点)
1.ガバナンス強化・リスク管理態勢の拡充の取組み	同左	-	A(4)
2.業務の適性化・効率化の取組み	(1)業務プロセスの最適化・効率化を図る	-	A(4)
	(2)組織としての「知の共有」を図る	-	A(4)
3.組織・人財両面での専門性を高める取組み	同左	-	B(3)
平均点			A(3.75)

3. 2023年度評価

(5) 柱IV. 会社と職員一人ひとりが変革・成長を続ける

評価
A

表. 評価の内訳

大項目	中項目(≡基本方針)	ノッチ調整	評価(評価点)
-	職員アンケートの「満足度」80%以上【ノッチ調整】	なし	-
	(1)人財へ投資する	-	A(4)
	(2)システムへ投資する	-	A(4)
	(3)将来ビジネスへ種を蒔く	-	B(3)
平均点			A(3.67)